

2024年度

卒業研究論文

「WIX.com と VSC: デジタルアーカイブと
活字化コミュニティサイト制作における実
践的比較」

主査 吉野 浩司
副査 Junayed Uddin Ahamed

鎮西学院大学

総合社会学部経済政策学科

学籍番号 EA21002

氏 名 池田 悠耶

目次

第一章 要旨.....	3
第二章 序論.....	4
2-1 研究の背景と目的.....	4
2-2 研究の意義と問題設定.....	4
2-3 研究の範囲と方法.....	5
2-4 参考文献.....	6
第三章 本論.....	7
3-1 理論的背景.....	7
3-1-1 WEB サイトの開発に用いられる技術.....	7
3-1-2 WEB サイトのホスティングとデプロイ.....	7
3-1-3 開発環境の比較.....	8
3-1-4 開発コストと時間.....	8
3-1-5 ユーザー体験とサポート.....	8
3-2 開発のプロセス.....	9
3-2-1 WIX.com を用いた WEB サイトの開発プロセス.....	9
3-2-2 Visual Studio Code を用いた Web サイトの開発プロセス.....	10
3-3 デジタルアーカイブとコミュニティサイトの概要と目的.....	10
3-3-1 デジタルアーカイブの概要と目的.....	10
3-3-2 コミュニティサイトの概要と目的.....	10
3-4 比較分析.....	11
3-4-1 WIX.com と Visual Studio Code での開発のメリットとデメリット.....	11
3-4-2 使用した技術の比較.....	12
3-4-3 実際の開発経験に基づく考察.....	12
3-5 実装例と結果.....	13
3-5-1 実装例.....	13
第四章 結論.....	21

第一章 要旨

本研究では、デジタルアーカイブ構築における開発環境として、WIX.com と Visual Studio Code (VSC) の二つを比較検討しました。歴史的資料の劣化が進む現代において、デジタルアーカイブ化はその保存と普及において重要な役割を果たしています。

研究の対象となったのは、私が開発を進めている「みんなの活字化広場」というプロジェクトです。このプロジェクトは、地域コミュニティの力を活用して歴史的資料を活字化し、誰もが簡単にアクセスできるデジタルプラットフォームを目指しています。

比較の結果、WIX.com は直感的な操作で短期間にウェブサイト構築できる一方で、カスタマイズ性や拡張性に限界があることが判明しました。一方、VSC は技術的なスキルと開発時間を必要とするものの、高度な機能の実装や外部ツールとの連携が可能であり、複雑な要求に対応できる柔軟性を持っています。

実装の過程では、WIX.com を使用して簡易的なデジタルアーカイブサイトを構築し、VSC では HTML、CSS、JavaScript を活用して、ユーザー認証やデータベース管理機能を備えた本格的な活字化コミュニティサイトを開発しました。

評価にはユーザーテストやパフォーマンス分析を用い、それぞれの開発コストや効率性を比較しました。その結果、小規模で迅速な立ち上げを目指す場合は WIX.com、大規模で長期的な運用を前提とする場合には VSC が適しているという知見を得ました。

本研究は、技術的な選択だけでなく、ユーザビリティやコミュニティ運営の観点からも、開発環境選定の指針となる知見を提供します。特に「みんなの活字化広場」のようなコミュニティ参加型のデジタルアーカイブは、今後の資料保存と活用に向けた新しい可能性を示すものであり、その意義を広く伝えていきたいと考えています。

第二章 序論

2-1 研究の背景と目的

現代社会は急速にデジタル化が進んでおり、紙媒体での保存や記録することの重要性が低下しつつあります。しかし、多くの歴史的な文書や資料は紙に依存しているため経年劣化や物理的な劣化により読めなくなり、その文書を失うことになりかねません。こうした背景の中で、デジタルアーカイブ化の重要性があると分かります。デジタルアーカイブは、経年劣化や物理的な劣化を受けることがなく、高品質な状態で長期間保存できるため、歴史的な文書や貴重な資料の保存において大きな利点です。

本研究の目的は、デジタルアーカイブ化の認知度を向上させることに重点をおいて取り組みました。その第一歩として、誰でも参加ができる「みんなの活字化広場」というプロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトでは、既にデジタル化された文章が多く存在しておりその資料を活字化するという体験型のサイトとなっています。また、コミュニティという言葉の通り、ユーザーが作成した活字化に対し間違っている箇所など、他のユーザーがコメントで訂正できる設計になっています。このプロジェクトを通じて、デジタルアーカイブの重要性を多くの人々に理解してもらうのと同時に、その活用方法を普及させることを目指しています。具体的には、ユーザーが簡単に参加できる仕組みを提供することで、デジタルアーカイブされた資料を活字化する体験を通じて、その価値を実感してもらうことを目標としています。

2-2 研究の意義と問題設定

研究の意義

現代社会におけるデジタルアーカイブの重要性は高まっています。歴史的な文書のデジタル保存は、次世代に向けた取り組みの1つです。デジタルアーカイブは、紙で保存された資料の劣化を防ぎ、長期的な保存とアクセスを容易にします。しかし、現在でも多くの歴史的資料は紙のままで、デジタル化されていません。また、デジタル化された資料の効果的な活用方法が確立されていないという課題があります。

本研究では、WIX.com と Visual Studio Code を用いてデジタルアーカイブを作成しました。また、Visual Studio Code を使用して、デジタルアーカイブに加えて活字化コミュニティサイトを構築しました。それぞれの環境における特徴と利点を比較することで、デジタルアーカイブの普及と利用促進に寄与する新たな方法論を提案し、特にコミュニティベースの活字化プロジェクトがどのように可能性を持つかを示すことを目指します。

問題設定

本研究では、WIX.com と Visual Studio Code を使用して2つの異なるWebサイトを構築

し、それぞれの開発環境がデジタルアーカイブと活字化コミュニティに与える影響を検討します。具体的には、WIX.com を用いたサイトのビジュアル編集の利便性と、Visual Studio Code を用いたカスタマイズ性やコード管理の効率性を比較し、それがデジタルアーカイブの構築や、VSC のみで実装された活字化コミュニティの運営にどのように影響するかを分析します。これにより、どちらの開発環境がデジタルアーカイブおよびコミュニティサイトの目的に最も適しているかを明らかにし、最適な開発手法を提案することを目指します。研究アプローチとしては、2つの環境でのサイト構築プロセス、コスト、パフォーマンスを比較し、限定したユーザーからのフィードバックを基に使用感や利便性を評価します。

2-3 研究の範囲と方法

研究の範囲

本研究は、WIX.com と Visual Studio Code という2つの異なる Web サイト開発環境を利用して、デジタルアーカイブと活字化コミュニティの Web サイトを構築し、それぞれの環境がもたらす特性と効果を比較することを目的としています。具体的には、WIX.com では、ドラッグ&ドロップによる視覚的なサイト作成を行い、Visual Studio Code では、HTML、CSS、JavaScript を用いて手動でコーディングを行います。この研究範囲は、各開発環境が提供する機能、開発の効率性、パフォーマンス、ユーザー体験に関する比較と評価に及びます。特に、Visual Studio Code でのみ実装された活字化コミュニティの設計を通じて、デジタルアーカイブの構築と活字化コミュニティサイトの設計における最適な手法を明らかにすることを主な目的とします。

研究の方法

本研究では、以下の方法論を採用して進めます。

1. サイト設計と開発

・WIX.com での開発

WIX.com では、テンプレートを選択し、デジタルアーカイブのデザインを視覚的にカスタマイズします。WIX のドラッグ&ドロップエディタを使用して、サイトの機能やコンテンツを設定し、完成したサイトを Google にて公開します。公開後には、ユーザー体験を基にした評価を行います。

・Visual Studio Code での開発

Visual Studio Code では、HTML、CSS、JavaScript を使用してサイトを手動でコーディングします。Firebase を利用してサイトをデプロイし、ホスティングとデータベースの設定を行います。開発やコードのカスタマイズ性についても評価を行い、サイトの機能性とユーザー体験を検証します。公開には、GitHub 経由で Google にて公開します。

2. データ収集と評価

・ユーザーテスト

両サイトに対してユーザーテストを実施し、使いやすさ、機能の有用性、デザインの魅力などに関するフィードバックを収集します。

・パフォーマンス分析

サイトの読み込み速度、レスポンスタイム、エラー発生率などのパフォーマンスデータを測定し、比較します。

・コストと開発効率の比較

2つの開発環境での作業にかかる時間やコストを記録し、効率性を評価します。

3. データ分析

・定量的分析

ユーザーからのフィードバックやパフォーマンスデータを数値化し、統計的な分析を通じて、2つの開発環境の利点と欠点を明確にします。

・定性的分析

ユーザーのコメントや使用体験に基づいて、開発環境の具体的な利点や問題点を分析します。

4. 結論の導出

・収集したデータを基に、どちらの開発環境がデジタルアーカイブと活字化コミュニティサイトの構築においてより適しているかを評価します。

2-4 参考文献

第三章 本論

3-1 理論的背景

3-1-1 WEB サイトの開発に用いられる技術

1. HTML (Hypertext Markup Language)

HTML は、WEB ページの基本的な構造を定義するマークアップ言語です。WEB ページのコンテンツを構造化し、テキスト、画像、リンクなどの要素を配置するために使用されています。HTML は、WEB ページの基本的な枠組みを提供しています。

2. CSS (Cascading Style Sheets)

CSS は、HTML で構造されたコンテンツにスタイルを適用するための言語です。フォント、色、レイアウトなどのデザイン要素を定義し、WEB ページの視覚的な見た目を調整します。CSS を用いることで、WEB ページの外観を統一し、ユーザーに魅力的な体験を提供しています。

3. JavaScript

JavaScript は、WEB ページに動的な機能やインタラクティブな要素を追加するためのスクリプト言語です。ユーザーの入力に応じた反応や、リアルタイムでのデータ処理、アニメーションなどの機能を実現します。JavaScript は、WEB ページをよりインタラクティブでユーザーフレンドリーにするために必要な技術です。

3-1-2 WEB サイトのホスティングとデプロイ

1. ホスティングサービス

WEB サイトをインターネット上で公開するためには、ホスティングサービスが必要です。WIX.com は、WEB サイトのホスティング、ドメイン管理、SSL 証明書、SEO ツール、WEB アナリティクスなど、WEB サイト運営に必要なすべての機能を一体で提供するホスティングサービスを提供します。これに対して、Visual Studio Code を用いた開発では、GitHub Pages や Firebase Hosting を利用して WEB サイトをデプロイします。これらのサービスは、高速でセキュアなホスティングを提供しているため、特に動的な WEB アプリケーションのホスティングに適しています。

2. ドメイン名と SSL 証明書

ドメイン名は、WEB サイトのアドレスを定義し、SSL 証明書は WEB サイトの通信を暗号化します。WIX.com では自動的に SSL 証明書が提供される一方で、Visual Studio Code での開発では、GitHub や Firebase がこれらの要素をサポートします。

3-1-3 開発環境の比較

1. WIX.com

WIX.com は、ノーコードで WEB サイトを構築できるプラットフォームであり、ドラッグ&ドロップ機能を利用し直感的に WEB サイトのデザインやレイアウトを作成できます。ビジュアルエディタを使用することで、コードの知識がなくても簡単に WEB サイトを構築できるため、デザインやレイアウトの迅速な作成が可能です。また、WIX.com はホスティング、ドメイン管理、SEO ツール、アナリティクスなど、WEB サイトの運営に必要な機能を一体型で提供しています。しかし、高度なカスタマイズには限界があり、プラットフォームが提供するテンプレートやウィジェットに依存する部分が多いため、独自の機能追加や複雑なインタラクションの実装には制約があります。

2. Visual Studio Code + HTML + GitHub + Firebase

Visual Studio Code は、HTML、CSS、JavaScript を用いて手動でコーディングを行う開発環境であり、より細かなデザインや機能のカスタマイズが可能です。GitHub を利用して、ソースコードのバージョン管理やプロジェクトの進行状況を見ることができます。Firebase Hosting を利用することで、高速でセキュアな WEB サイトのデプロイが可能です。設定や管理には技術的な知識が必要です。

3-1-4 開発コストと時間

1. WIX.com

WIX.com は、ビジュアルエディタを使用することでデザインや構築の時間を大幅に短縮でき、迅速な立ち上げが可能です。基本的な機能を利用するには無料プランがあります。しかし、より多くの機能やカスタマイズオプションが必要な場合は有料プランが必要です。これにより、開発コストを抑えつつ、効率的に WEB サイトを構築することができます。

2. Visual Studio Code + HTML + GitHub + Firebase

Visual Studio Code を使用したコーディングには時間がかかりますが、プロジェクトの規模や複雑さに応じて柔軟な対応が可能です。GitHub や Firebase を利用することで、開発の管理やデプロイが行えますが、この操作には技術的な知識と追加のコストが発生する可能性があります。開発における自由度が高い一方で、初期の設定や学習コストが伴います。

3-1-5 ユーザー体験とサポート

1. WIX.com

WIX.com は、ビジュアルエディタによって直感的に操作できるため、WEB 開発の初心者で

も扱いやすいです。サポートも充実していて、チュートリアルやサポートフォーラムを利用することができます。

2. Visual Studio Code + HTML + GitHub + Firebase

Visual Studio Code を用いた開発は、コーディングの知識が必要なため、初心者にとっては学習コストが高いですが、カスタマイズ性と柔軟性を提供します。技術的な問題に対する回答は自分で調査する必要があります。

3-2 開発のプロセス

3-2-1 WIX.com を用いた WEB サイトの開発プロセス

WIX.com の概要

WIX.com は、ノーコードで Web サイトを構築できるオンラインプラットフォームです。ユーザーは、ドラッグ&ドロップ機能を使用して、視覚的に WEB サイトのデザインやレイアウトを作成できます。また、WIX.com は、ホスティング、ドメイン管理、SEO ツール、アナリティクスなど、WEB サイト運営に必要な機能を一体型で提供しています。

(開発プロセスの詳細)

・テンプレート選択

開発の第一段階として、WIX.com が提供するテンプレートライブラリから適切なテンプレートを選択しました。テンプレートは、デザインの方向性やレイアウトの骨組みを提供するもので、選択することで迅速にサイト構築が始められます。

・ビジュアルデザインとレイアウト編集

次に、WIX.com のビジュアルエディタを使用して、ドラッグ&ドロップでコンテンツを配置し、デザインやレイアウトを微調整しました。これにより、視覚的な要素を簡単にカスタマイズし、目的に合ったデジタルアーカイブを構築しました。

・機能の追加と設定

デジタルアーカイブとしての機能を強化するため、WIX.com 内で提供されているウィジェットを活用し、コンテンツの管理や検索機能を追加しました。また、SEO ツールを使用して、検索エンジンに最適化された設定を行い、サイトのアクセス性を向上させました。

・公開とテスト

最後に、Web サイトを公開し、ユーザビリティテストを実施しました。これにより、デザインや機能に関するフィードバックを収集し、必要に応じて修正を行いました。

3-2-2 Visual Studio Code を用いた Web サイトの開発プロセス

Visual Studio Code の概要

Visual Studio Code は、ソースコードエディタであり、HTML、CSS、JavaScript を用いて手動で WEB サイトを構築するためのツールです。また、GitHub を利用したバージョン管理や、Firebase Hosting を利用した WEB サイトのデプロイが可能です。

(開発プロセスの詳細)

・プロジェクトの初期設定

VSC での開発は、まずプロジェクトフォルダを作成し、HTML、CSS、JavaScript のファイルを設定することから始めます。また、GitHub リポジトリを作成し、プロジェクトの管理を開始しました。

・コーディングとレイアウト設計

次に、HTML を用いて WEB サイトの基本構造を定義し、CSS でスタイルを適用してデザインを整えました。JavaScript を活用して動的な機能やインタラクションを追加し、ユーザーエクスペリエンスを向上させました。特に、コミュニティサイトにおいては、ユーザーが参加できるインターフェースを構築し、データベースとの連携を実装しました。

・バックエンドの設定とデプロイ

Firebase を利用して、バックエンドサービスを設定し、データの保存や認証機能を実装しました。その後、Firebase Hosting を使って WEB サイトをデプロイし、オンラインでアクセス可能な状態にしました。

・テストと改善

公開後、サイトの機能テストを行い、ユーザーフィードバックに基づいて修正と改善を行いました。また、定期的に GitHub を使用してバージョン管理を行い、開発プロセスの追跡と管理を行いました。

3-3 デジタルアーカイブとコミュニティサイトの概要と目的

3-3-1 デジタルアーカイブの概要と目的

デジタルアーカイブとは、歴史的資料などをデジタル形式で保存・提供するシステムです。本研究では、WIX.com と Visual Studio Code の両方の環境でデジタルアーカイブサイトを構築し、高品質なデータ保存と、一般ユーザーがアクセスしやすいプラットフォームを提供することを目的としました。特に、紙で保存された資料の劣化を防ぎ、次世代へと情報を継承する手段として、デジタルアーカイブの普及を目指しました。

3-3-2 コミュニティサイトの概要と目的

Visual Studio Code で構築したコミュニティサイトは、ユーザーが参加して活字化プロ

プロジェクトに貢献できるプラットフォームを提供します。このサイトでは、デジタル化された歴史的資料をユーザーがアップロードや活字化ができ、その成果を共有することで、共同作業を促進することを目的としています。これにより、活字化の作業が分散化され、多くの人々が歴史的資料の保存と共有に貢献できる環境を整えました。

3-4 比較分析

3-4-1 WIX.com と Visual Studio Code での開発のメリットとデメリット

WIX.com

(メリット)

- ・直感的な操作性：ドラッグ&ドロップ機能で、コードを書かずに WEB サイトの構築ができる。
- ・豊富なテンプレート：デザインテンプレートが多数用意されているため、初心者でも短時間で見栄えの良いサイトを作成できる。
- ・一体型のホスティングサービス：ドメイン管理、ホスティング、SSL 証明などが一つのプラットフォームで完結するため、管理が簡単。

(デメリット)

- ・カスタマイズの制限：提供されている機能やデザインに依存し、細かな調整や独自機能の実装が難しい。
- ・コスト：無料プランは制限が多くあり、有料プランを使用する場合、コストが増加する。
- ・パフォーマンスの限界：高度なパフォーマンスや最適化などは WIX.Com では限界がある。

Visual Studio Code

(メリット)

- ・カスタマイズ性に優れている：HTML、CSS、JavaScript を自由にコーディングできるため、独自のデザインや機能を実装可能。
- ・コード管理の効率性：GitHub との連携で、バージョン管理が容易。
- ・拡張機能の豊富さ：Visual Studio Code には豊富な拡張機能があり、開発の効率やデバッグが容易。

(デメリット)

- ・学習曲線：コーディングの知識が必要であり、初心者には負担が大きい。
- ・時間の消費：コードをゼロから書きため、開発に時間がかかる。
- ・複雑な設定：GitHub や Firebase には設定が必要で、時間がかかることがある。

3-4-2 使用した技術の比較

コスト面

- ・WIX.com : 本研究では無料プランですが、有料プランの場合には月額料金がかかるため、長期的に考えるとコストが増加する可能性があります。
- ・Visual Studio Code : 基本的には無料です。しかし、Firebase で高機能を利用する場合や特定のサービスを利用する場合には料金が発生します。長期的にはコストを抑えやすいです。

時間

- ・WIX.com : 直感的な操作と多数のテンプレートにより、WEB サイトの構築に時間がかかるとはありません。そのため、短時間で作成できます。
- ・Visual Studio Code : コーディングによる手動の開発が必要なため、時間がかかります。特に複雑な機能を実装する場合には、開発時間が長くなります。

カスタマイズ性

- ・WIX.com : カスタマイズの自由度が低く、プラットフォームが提供する範囲内での変更になります。
- ・Visual Studio Code : 完全な自由度があり、HTML、CSS、JavaScript によってあらゆる部分をカスタマイズできます。独自の機能やデザインを実装したい場合には最適です。

学習曲線

- ・WIX.com : プログラミングの知識が不必要なため、学習曲線は非常に緩やかです。
- ・Visual Studio Code : プログラミングや開発ツールの知識が求められるため、学習曲線が急です。

3-4-3 実際の開発経験に基づく考察

WIX.com は、初心者や短期間でプロジェクトを立ち上げたい場合には最適なプラットフォームです。特に、ビジュアルデザインを重視するプロジェクトでは、その簡便さが非常に効果的です。しかし、カスタマイズ性に限界があるので、独自性の高いサイトや複雑な機能を求めるようなプロジェクトには向いていません。一方で、Visual Studio Code は、高度なカスタマイズ性と自由度には優れています。特に、長期的なプロジェクトにはメリットがあります。ただし、学習曲線が急であり、初期設定やコーディングに時間がかかるため、開発プロセスが複雑になる可能性があります。

結果として、WIX.com と Visual Studio Code はそれぞれ異なるニーズに応じた選択肢となります。プロジェクトの目標に応じて、どちらの環境が適しているかを慎重に選ぶことが重要です。

3-5 実装例と結果

3-5-1 実装例

1) WIX.com での WEB サイト

・概要

WIX.com を使用して、デジタルアーカイブサイトを作成しました。このサイトは、ドラッグ & ドロップ機能を活用し、短期間で視覚的に魅力的なページを作成することができました。主に歴史資料をデジタル化し、一般の閲覧者が容易にアクセスできるようにすることを目的としました。

・ホーム画面

図1の画面は、本サイト訪問者が最初に目にするページとなっております。主要なコレクションへのリンクを配置し、シンプルで直感的なデザインに仕上げました。サイト全体の雰囲気を伝え、訪問者をデジタルアーカイブの世界に誘導します。また、レビューへのリンクをつけることで、より良いサイトのアップデートができると考えます。



図

1

・活字化の内容を選択する画面

図2の画面は、訪問者がデジタル化された資料の中から、活字化プロジェクトの対象となる文章を選択できます。各文章の概要が表示され、選択肢として簡単に理解できるよう設計しました。訪問者は、興味のある資料をクリックするだけで詳細な文章選択にアクセスできます。

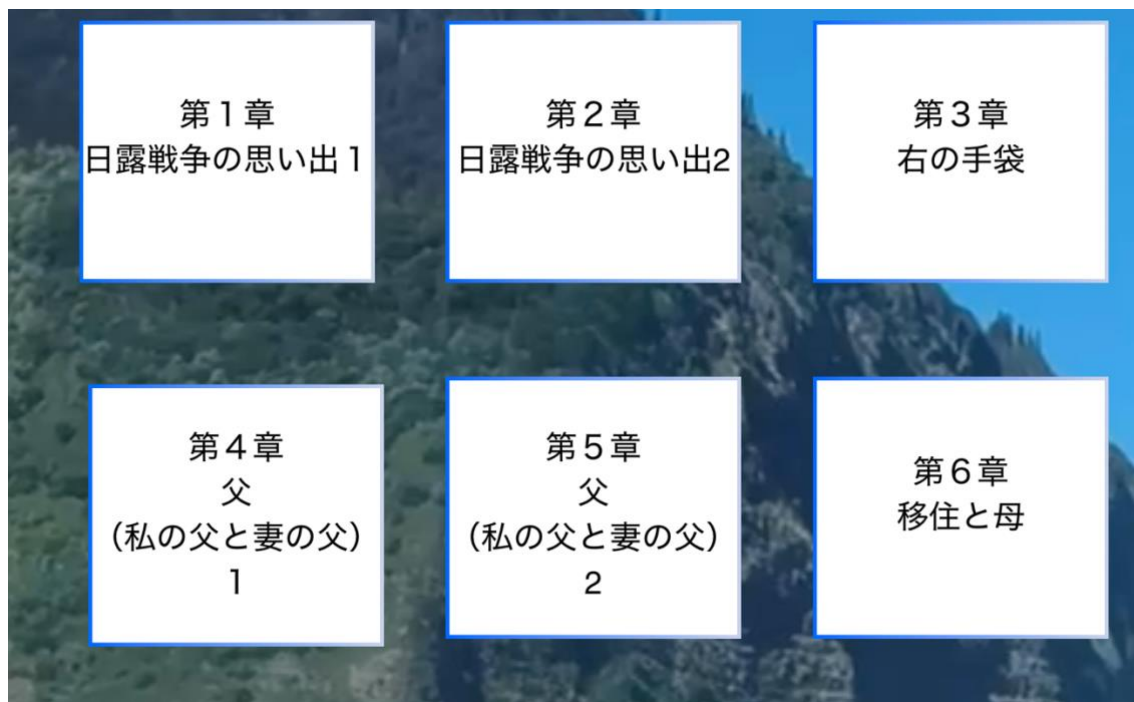


図 2

- ・さらに詳細な文章選択の画面

図 3 の画面は、活字化の内容を選択した後、訪問者はさらに詳細な文章のセクションを選択する画面に進みます。

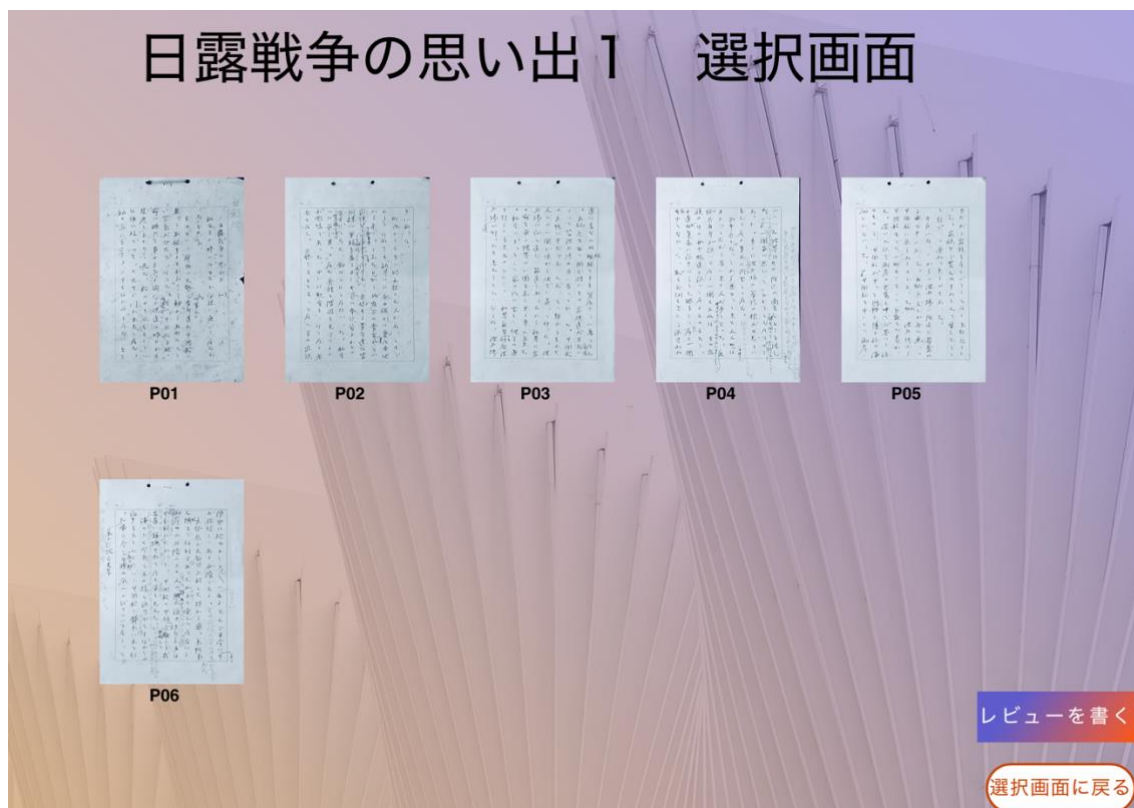


図 3

・活字化の表示

図 4 画面は、左に原稿、右に活字化の文を表示させているため、訪問者がより見やすいようにしています。

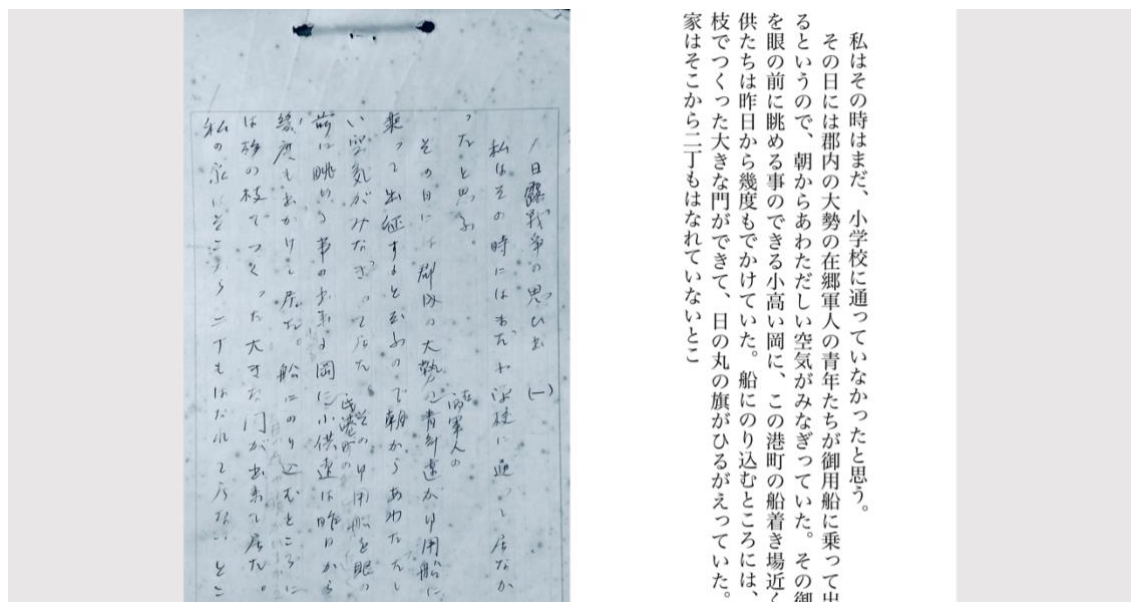


図 4

・使用した機能

WIX.com では、ビジュアルデザインの調整が非常に簡単で、以下の主要な機能を使用しました。

- 1、 テキストエディタ：各ページに見出しや文章を追加するために、テキストエディタを使用しました。WIX.com のテキストエディタはフォントやサイズ、色を簡単にカスタマイズできるため、視覚的に一貫したデザインを維持しつつ、内容を効果的に伝えることができました。
- 2、 ボタンウィジェット：各ページで訪問者の操作を誘導するために、ボタンウィジェットを使用しました。ボタンにはリンクを設定し、訪問者が簡単に次のステップへ進めるようにしました。図 1 の画面で説明すると、「活字化の内容を見る」「制作者情報を見る」といったボタンを配置しました。
- 3、 リンク機能：サイト内のページ間や外部のリソースに簡単にアクセスできるように、リンク機能を活用しました。

2) Visual Studio Code での WEB サイト

・概要

Visual Studio Code を使用して、デジタルアーカイブサイトと、活字化コミュニティサイト

を構築しました。Visual Studio Code では、HTML、CSS、JavaScript を手動でコーディングし、サイトのデザインや機能を高度にカスタマイズしました。また、GitHub を用いてコードのバージョン管理を行い、Firebase を利用してホスティングを行いました。

・ホーム画面

図 5 は、本サイトの訪問者が最初に目にするページです。主要なコレクションへのリンクを配置し、シンプルで直感的なデザインに仕上げました。また、お知らせボックスを設置して、サイト内の更新情報が一目でわかるようにしています。中央に配置した検索バーでは、ユーザーがサイト内で探したい情報を簡単に検索できます。



図 5

・活字化の内容を見る画面

図 6・7 では、見開きが可能でズーム機能が利用できるため、見にくい文字でもズームしてより見やすくなります。また、活字化の内容を表示しているため原稿で読めない文字でも解決することができます。



図 6



図 7

・使用した機能

Visual Studio Code では、完全な自由度があり、より細かくカスタマイズできます。以下が実際に作業をしたプログラミング画面です。

1、図 8 では、WEB サイトの最初のページを作り上げたコードになります。

```

158 <body>
159 <header>
162 </header>
163
164 <div class="container">
165   <div id="button-container">
166     <a href="pagetwo.html" class="button">全てのデジタルアーカイブを見る</a>
167     <a href="pagethree.html" class="button">鈴木栄太郎について</a>
168     <a href="https://yuyawesleyan.github.io/honkoku-member/" class="button">みんなの活字化広場</a>
169     <a href="pagefour.html" class="button">制作・運用担当者</a>
170     <a href="pagefive.html" class="button">WEBページ計画書</a>
171   </div>
172
173   <div id="search-container">
174     <form action="search_results.html" method="GET">
175       <input type="text" name="query" id="search-input" placeholder="検索...">
176       <button type="submit" id="search-button">検索</button>
177     </form>
178   </div>
179
180   <h2 class="centered">本デジタルアーカイブについて</h2>
181   <p class="centered">本デジタルアーカイブは、日本の社会学者であった鈴木栄太郎の未発表手書き自伝原稿を中心とする資料をデジタル化して一般公開するために</p>
182   <ol class="shifted">
183     <li>筑西学院大学 (Nagasaki Wesleyan University) </li>
184     <li>吉野ゼミ</li>
185   </ol>
186   <p class="centered">の協力により作成されました。</p>
187
188   <section class="announcement">
189     <h3>お知らせ</h3>
190     <p>みんなの活字化広場試乗ページを追加しました。2024/8/8AM11:03</p>
191     <p>WEBサイト構築をしました。2024/7/21AM00:00</p>
192   </section>
193
194   <h4 class="centered">ピックアップコンテンツ</h4>
195   <div class="pickup-container">
196     <div class="pickup-content">
197       <a href="iiif-suzuki.html" class="pickup-item">
198         
199         <h3>鈴木栄太郎の未発表手書き原稿</h3>
200       </a>
201     </div>
202
203     <div class="pickup-content">
204       <a href="https://yuyawesleyan.github.io/honkoku-member/" class="pickup-item">
205         
206         <h3>みんなの活字化広場</h3>
207       </a>
208     </div>
209   </div>
210 </div>

```

図 8

2、図 9 では、鈴木栄太郎の原稿や活字化された画像を表示させるコードとなっています。

```

41 footer {
42   text-align: center;
43 }
44
45 .pdf-download {
46   margin-top: 1rem;
47 }
48
49 .button {
50   display: inline-block;
51   margin: 0 0.5rem;
52   padding: 0.75rem 1.5rem;
53   color: #fff;
54   background-color: #007bff;
55   text-decoration: none;
56   border-radius: 5px;
57   font-weight: bold;
58   box-shadow: 0 4px 8px rgba(0, 0, 0, 0.2);
59   transition: background-color 0.3s, transform 0.3s;
60 }
61
62 .button:hover {
63   background-color: #0056b3;
64   transform: translateY(-2px);
65 }
66
67 .button:active {
68   background-color: #003d7a;
69   transform: translateY(0);
70 }
71
72 </style>
73 </head>
74 <body>
75 <header>
76   <h1>鈴木栄太郎の手書き自伝</h1>
77 </header>
78
79 <main>
80   <section id="scan">
81     <h2>スキャン原稿</h2>
82     <iframe src="https://online.fliphtml5.com/hgttx/xuo/" frameborder="0"></iframe>
83   </section>
84 </main>
85
86 <footer>
87   <p>©copy; 2024 Created by Yuya.I</p>
88 </footer>
89 </body>
90 </html>

```

図 9

4、 図 10 では、鈴木栄太郎の紹介ページのコードが表示されています。このページでは、細かいカスタマイズが可能であることを象徴する例として、略歴を表示するためのコードや、PDF のダウンロードボタンの配置が挙げられます。



```
2 <html lang="ja">
107 <body>
108 <div class="container">
110 <hr>
111 <div class="profile">
112 
113 <div class="profile-info">
114 <div class="profile-name"> 鈴木 栄太郎 (すずき・えいたろう) </div>
115 <hr class="second-line">
116 <div class="profile-text">
117 鈴木 栄太郎 (すずき・えいたろう) は、1894年長崎県香椎郡ノ浦に生まれる。長崎県立香椎中学校、第一高等学校を経て、1922年に東京帝国大学文学部を卒業後、京都帝国大学大学院に進学し米田庄太郎に師事。
118 岐阜高等農林学校教授、京城帝国大学助教授を経て、1947年より北海道大学教授。また、1946年にはGHQの民間情報教育局顧問を務めた。
119 </div>
120 </div>
121 </div>
122 <div class="profile-bio">
123 <h2>略歴</h2>
124 <ul>
125 <li>・1894年 - 長崎県香椎島に生まれる</li>
126 <li>・1901～1908年 - 尋常小学校入学</li>
127 <li>・1909～1914年 - 船渠中学校入学</li>
128 <li>・1914～1919年 - 船渠中学校卒業 第一高等学校入学 第一部</li>
129 <li>・1919～1923年 - 第一高等学校卒業 東京帝国大学入学</li>
130 <li>・1923年 - 東京帝国大学文学部卒業 京都帝国大学入学 米田庄太郎に師事</li>
131 <li>・1924年 - 京都帝国大学助教授に就任</li>
132 <li>・1925年 - 岐阜高等農林学校教授</li>
133 <li>・1933年 - 『農村社会学史』(刀江書院) </li>
134 <li>・1940年 - 『日本農村社会学原論』(青木社) </li>
135 <li>・1942年 - 京城帝国大学助教授</li>
136 <li>・1944年 - 『朝鮮農村社会学原論』(大坂屋外書店) </li>
137 <li>・1946年 - GHQの民間情報教育局顧問 11月文学博士 (東京大学) </li>
138 <li>・1947年 - 北海道大学教授</li>
139 <li>・1949年 - 『日本農村社会学原論』(青木社) </li>
140 <li>・1957年 - 『都市社会学原論』(有斐閣) </li>
141 <li>・1958年 - 東洋大学教授</li>
142 <li>・1965年 - 旭光大学教授</li>
143 <li>・1966年 - 死去</li>
144 <li>・1970年 - 『国民社会学原論ノート』 </li>
145 </ul>
146 </div>
147 </div>
148 </body>
149 </html>
150
151 <!DOCTYPE html>
152 <html lang="ja">
153 <head>
154 <meta charset="UTF-8">
155 <meta name="viewport" content="width=device-width, initial-scale=1.0">
156 <title>ダウンロードファイル</title>
157 <style>
```

図 10

- ・ ホーム画面

図 1 1 は、「みんなの活字化広場」の最初のページとなります。ここでは、各ボタンを配置しログインや WEB サイトについて知るページなどの誘導ボックスを配置しました。また、ページ中央には自動再生ビデオを配置し参加を促す動画を再生しています。ログインや新規登録もここからできるようにしました。



図 1 1

第四章 結論

本研究を通じて、WIX.com と Visual Studio Code (VSC) の開発環境における特徴と、デジタルアーカイブ構築への適性が明らかになりました。

WIX.com の特徴

ノーコードでの開発が可能：プログラミング知識がなくても直感的に操作可能で、初心者にも扱いやすい。

短期間でのサイト構築：豊富なテンプレートとドラッグ&ドロップ機能により、スピーディーな立ち上げが可能。

一体型サービスの提供：ホスティング、SEO、SSL 証明書など運営に必要な機能が統合されている。

カスタマイズ性の制限：複雑な機能の追加や細かな仕様変更が難しい。

ランニングコストの発生：有料プランでは長期的なコストが必要となる。

VSC の特徴

高度なカスタマイズが可能：HTML、CSS、JavaScript を使用し、自由度の高い設計が実現できる。

バージョン管理が容易：GitHub との連携により、開発履歴の管理や共同作業が効率的に行える。

高度なバックエンド機能：Firebase を活用することで、ユーザー認証やリアルタイムデータ管理などの高度な機能が実装可能。

技術力と時間が必要：設定や開発に時間を要し、プログラミングスキルが求められる。

初期構築の手間：環境構築や設定が複雑で、開発準備に時間がかかる。

結論

実践的な比較の結果、以下の結論に至りました

プロジェクト規模と目的に応じた環境選択

小規模で迅速な立ち上げが求められる場合は WIX.com が適している。

複雑な機能や長期的運用が必要な場合は VSC が優れている。

デジタルアーカイブ普及のための要件

使いやすいインターフェース設計。

コミュニティ参加型の運営モデル。

継続的な運営体制の確立。

「みんなの活字化広場」の成果

コミュニティベースの活字化を実証：地域住民の参加による活字化の可能性を明確化。

相互チェック機能の有効性：ユーザー間での確認作業により精度を向上。

デジタルアーカイブの新たな活用提案：参加型アプローチの価値を提示。

今後の課題

多様なユーザー層からの意見収集：より幅広いニーズに応えるためのフィードバック収集。

長期運営課題の検証：継続的な管理と改善の仕組み構築。

コミュニティ活性化手法の確立：参加者のモチベーション維持と拡大のための方策検討。

活字化精度向上：技術的改善とチェック体制の強化。

本研究は、デジタルアーカイブ構築の指針を提供するとともに、コミュニティ参加型活字化の可能性を示しました。この成果が今後のプロジェクトにおいて役立つことを期待しています。